

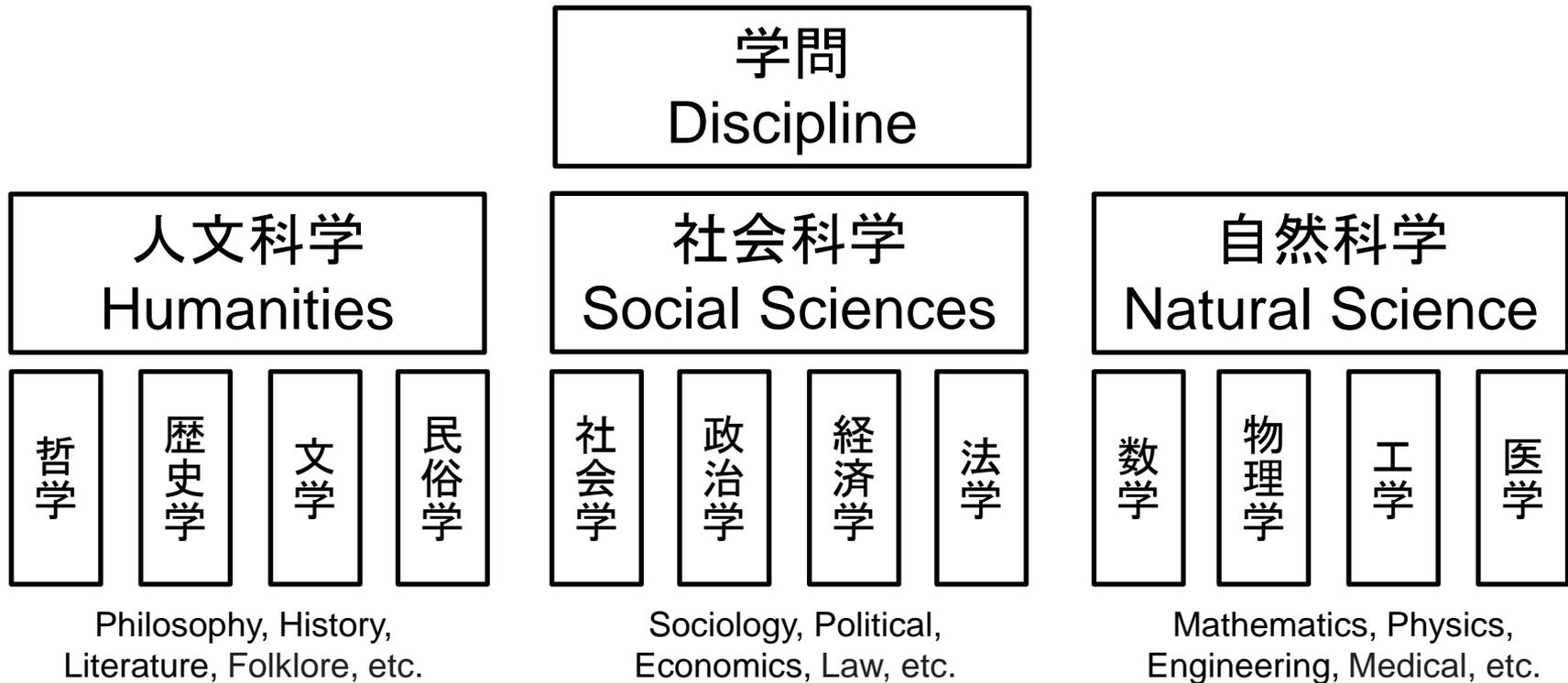
弓道研究の現状

CURRENT STATUS OF KYUDO RESEARCH

Tomotsugu GOKA, Ph.D. (五賀友継)
International Budo University (国際武道大学)

弓道を学術的に研究するとは？

What is the academic study of Kyudo?



大学の学部名を想像してください。
学問がそのまま学部名になっていることが多いですね。
The academic discipline is often the name of the department in university.

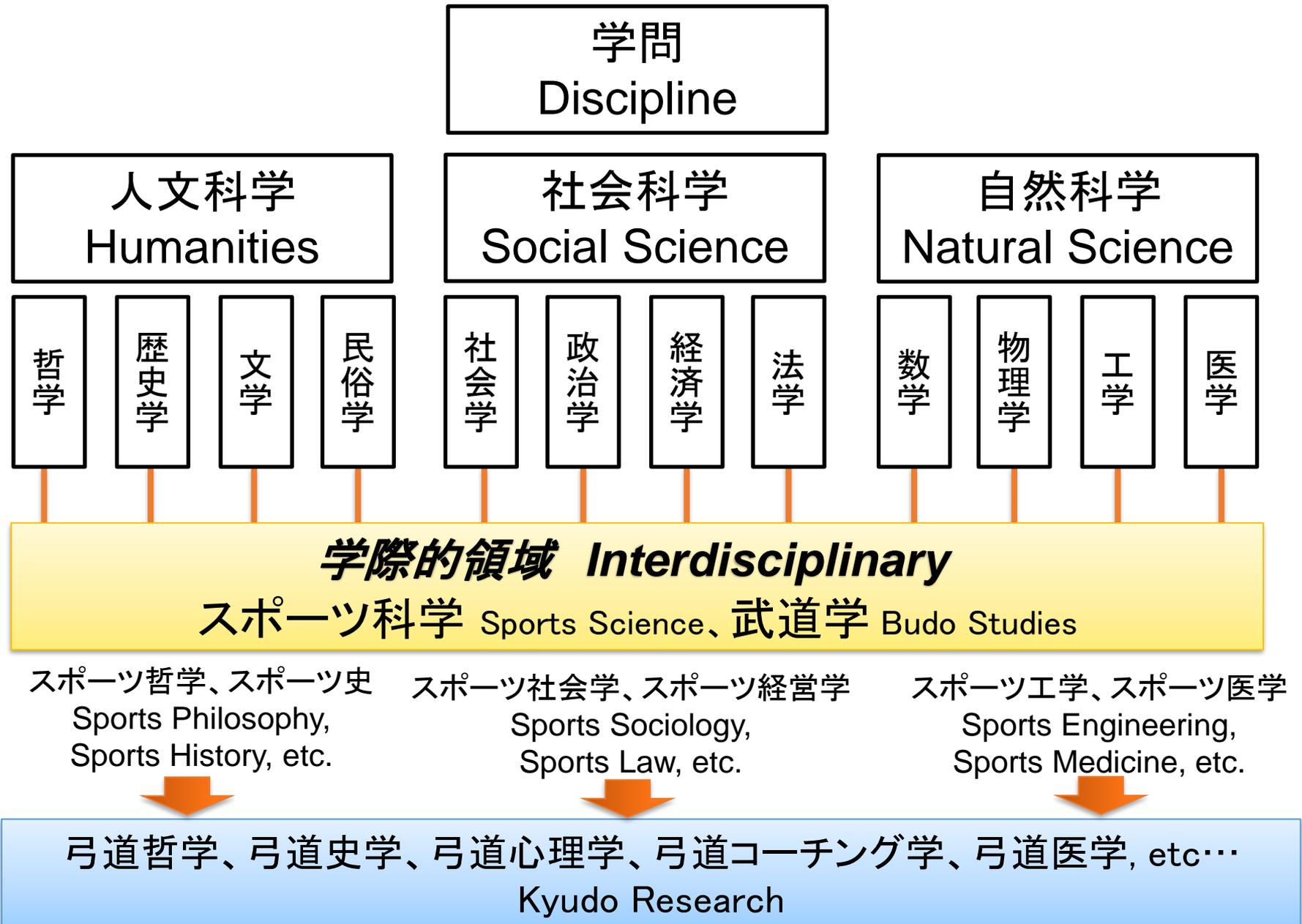
「弓道学」はある？ Is there “Kyudo Studies”?

- “弓道学”という学問領域はない。
- 「弓道学部」や「弓道学会」というのは存在していない。
- 弓道研究者は、特定の学問領域（親学問）や学際的領域で弓道を対象として研究している。

(“Kyudo Studies” does not exist. Kyudo is studied in specific academic discipline or Interdisciplinary research)

- 弓道に関する研究は、主に「スポーツ科学」「武道学」の領域で行われている。
- スポーツ科学と武道学は、複合的且つ学際的領域であるため、親学問の研究手法を用いていることが多い。

(Kyudo is mainly studied in Sports Science and Budo Studies. Research methods in existing discipline are often used.)





筑波大学
University of Tsukuba

- ✓ 日本で唯一、体育系(体育学部)に弓道研究室「弓道領域」を設置。
- ✓ 弓道コーチングで学士・修士・博士まで取得可能。
- ✓ スポーツ史、スポーツ社会学、スポーツ心理学、運動生理学、スポーツバイオメカニクスなどの体育・スポーツ科学領域で弓道を対象として研究が行われることもある。



日本体育大学
Nippon Sport Science University

- ✓ 体育学部の学士課程に弓道コースが設置されている。
- ✓ 国際武道大学は専任の教員を置いており、武道専修コース(弓道)で卒業論文を書くことが可能。
- ✓ 日本体育大学には実質的な弓道コースがあるが、専任の教員がいない。

- 弓道を学術的立場から専門的に学ぶコース・授業があるのは、上記3大学のみ。
- その他の大学において弓道の授業が行われる場合、一般教養(大学体育)の一種目として実技授業が実施されている場合が多い。
- 筑波大学、国際武道大学以外に所属している弓道研究者は、弓道以外の授業も担当しつつ、自身の研究活動として弓道を対象として研究するといった形である。

1. 細谷聡(2002) 弓具の力学的特性からみた発射技術と発射感覚に関する生体工学的研究、信州大学。
Satoshi Hosoya (2002) Biological engineering research on shooting techniques and sensations from the viewpoint of mechanical properties of Kyudo equipment, Shinshu University.
➡ 弓具と発射技術及び発射感覚に関する工学的研究
2. 入江康平(2010) 堂射の研究、筑波大学。
Kohei Irie (2010) A Study of Doshu, University of Tsukuba.
➡ 堂射(三十三間堂の軒下を射通す射)に関する歴史学的研究
3. 煙山千尋(2010) 弓道選手に対するメンタル・トレーニングの効果：弓道選手版心理的スキル尺度の作成およびトレーニング効果の検討、桜美林大学。
Chihiro Kemuriyama (2010) Effectiveness of Mental Training for Kyudo Athletes : Development of a Psychological Skill Scale for Kyudo Athletes and Examination of Training Effectiveness, J.F. Oberlin University.
➡ 弓道選手に対するメンタルトレーニングに関する心理学的研究
4. 五賀友継(2021) 近代における弓道の形成に関する歴史的研究、筑波大学。
Tomotsugu Goka (2021) A historical study of the formation of Kyudo in the modern era, University of Tsukuba.
➡ 近代弓道史に関する歴史学的研究

Ciniiに種目名を入れて検索すると

	弓道 Kyudo	柔道 Judo	剣道 Kendo	空手 Karate	野球 Baseball	サッカー Soccer
博士論文	3	78	28	18	93	523
学術論文	55	799	568	91	749	1972

※種目名を「キーワード」に日本語で入力、学術論文は「論文」「紀要論文」「学術雑誌論文」に絞り込み。

『武道学研究』に種目名を入れて検索すると

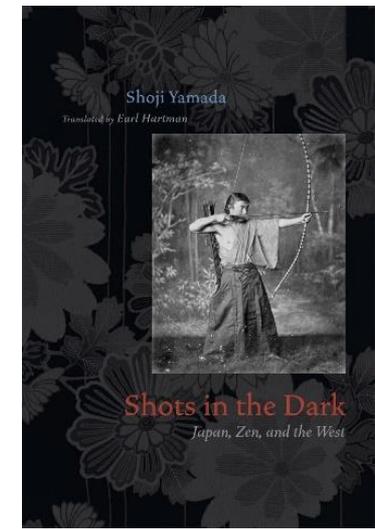
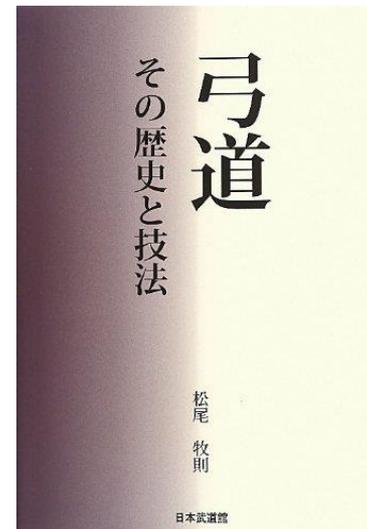
	弓道 Kyudo	柔道 Judo	剣道 Kendo	空手 Karate	相撲 Sumo
学術論文 研究発表 報告	313	2099	1984	386	231

※J-stageで種目名をいれて表示された数。

人文科学

出版物

- ✓ 入江康平(2022)堂射の話—通し矢天下一に挑んだ武士たち, 雄山閣.
- ✓ 入江康平(2018)弓射の文化史【原始～中世編】狩猟具から文射・武射へ, 雄山閣.
- ✓ 入江康平(2018)弓射の文化史【近世～現代編】射芸の探求と教育の射, 雄山閣.
- ✓ 松尾牧則(2013)弓道 その歴史と技法, 日本武道館.
- ✓ Shoji Yamada(2011) Shots in the Dark: Japan, Zen, and the West (Buddhism and Modernity), University of Chicago Press.



人文科学

論文

- ✓ 五賀友継・松尾牧則(2020)「弓術」から「弓道」への移行時期とその理由に関する史的考察:学校弓道部の名称と出版物における語彙使用状況に着目して, 武道学研究, 52(2), pp. 57-72.
- ✓ 五賀友継(2022)戦前の学校教育における正課弓道担当教員の資格と養成に関する史的研究, 国際武道大学紀要, 37, pp. 1-14.
- ✓ 五賀友継・洪子甯・松尾牧則(2022)日本統治下台湾における弓道の導入と普及実態:弓道団体の進出を中心として, 武道学研究, 54(2), pp. 87-102.
- ✓ 佐藤渚(2022)「礼」と神棚から見る武道:弓道を事例に古事, 天理大学考古学・民俗学研究室紀要, 26, pp.1-27.
- ✓ 森俊男(2004)正倉院及び大山祇神社所蔵 弓の比較から見た弓具・射術の変化に関する研究, 武道学研究, 36(3), pp. 9-18.

武道史の視点から弓道に関して記述があるもの(出版物)

- ✓ 中嶋哲也(2017)近代日本の武道論<武道のスポーツ化>問題の誕生, 国書刊行会.
- ✓ Raul Sanchez Garcia(2020) The Historical Sociology of Japanese Martial Arts (Routledge Research in Sport, Culture and Society), Routledge.

自然科学

論文(用具関係)

- ✓ 真田康弘(2023)温湿度環境制御下における和弓の引き分け繰り返しと弓力変化, 武道学研究, 早期公開中.
- ✓ 佐藤ふう・佐藤克成(2023)弓道の握り革の使いやすさが手の内の力に及ぼす影響, 日本感性工学会論文誌, 22(1), pp. 65-73.
- ✓ Giacomo Mariani・Eiichi Obataya・Mahiro Kosaka・Makinori Matsuo(2022) Design and construction of modern FRP Japanese bows by an inverse modelling approach of the elastica theory, Composite Structures.
- ✓ Giacomo Mariani・Makinori Matsuo(2020) The static deformation of the asymmetric Japanese bow: modelling bow asymmetries with the elastica theory, Meccanica, 5, pp.1733-1752.
- ✓ 末次正寛・辻正利・西岡将美(2010)和弓の構成部材境界部に発生するせん断応力について, スポーツ産業学研究, 20(2), pp.149-157.

自然科学

論文(コーチング、心理学、医学など)

- ✓ 森田匠・松永知子・宇佐美義光・伊澤彰郎・平岡道郎・平場勝成(2020)弓道における咬筋活動と噛みしめの影響, スポーツ歯学, 24-1, pp.26-33.
- ✓ 木村陽子(2018)弓道の操作イメージと実運動の比較検討: 道具の運動から予期する上肢の構えに着目して, 武道学研究, 51(2), pp.101-111.
- ✓ 西尾誠一郎・林祐一・加藤新英ほか(2021)弓道における異常な運動(いわゆるイップス)—頻度, 分類, 危険因子の検討—, 臨床神経学, 61, pp.522-529.
- ✓ 煙山千尋(2013)弓道選手用心理的スキル尺度の開発, 武道学研究, 46(1), pp.41-51.
- ✓ 細谷聡・加賀勝(2002)弓道の「手の内の働き」に関する生体工学的研究, 武道学研究, 35(2), pp.11-18.
- ✓ 山田佳弘・原英喜, 弓道の離れにおける呼吸の測定法について, スポーツ・身体文化研究室紀要, 34, pp.15-25.
- ✓ 細谷聡・岡田守彦・宮地力・大山圭悟(2002)筋電図計測を利用した和弓における発射技術の分析, スポーツ産業学研究, 12(1), pp.21-30.

Thank you!



Tomotsugu Goka, Ph.D.

International Budo University

Faculty of Physical Education, Department of Budo

E-mail : tomotsugu.goka2@budo-u.ac.jp